

扶 桑



No. 471

平成23年6月3日発行
〒156-0043 東京都世田谷区
松原1-7-20

扶桑教大教庁
TEL : 03-3321-0238

お見舞い

この度の、東日本大震災で罹災されました方々に、ここからお見舞い申し上げます。扶桑教では、日々、御神前での震災鎮静と早期復興の御祈念を続けています。被災地では、まだ余震や物資不足などの不安を抱えながら辛い避難生活を送っている方々も多くいらっしゃいます。どうぞ各教会・神事所にも、朝夕のお参りの際には、心からのご祈願をお願いいたします。私たちも被災された多くの方々の苦しみを分かち合い、心の安らぎを祈りましょう。

第五世管長 杉山一太郎

東日本震災対策事務所

設置のお知らせ

この度東日本大震災の発生により悲しくも犠牲になられた方々の御霊が安らかなるを祈ります。そして未だに余震の続く中、避難所にて不安な毎日を送られている方々の不自由、ご心配は如何ばかりかと、国民のすべてがいたた

まれない思いです。微力な私たちはひたすらに祈るものであります。被災地の皆様お一人お一人が、大神様のみまもりを受け、一日も早くお元気なお姿に戻られますように。さらには苦難を乗り越えて力強く地域復興がなされます事を願ひ、皆様と心を一つに結び祈りたいと思ひます。

扶桑教は、災害指定地区の四東日県内に四教会があります。それぞれに大きな被害を受け、教会員はもとより、ご家族様、またご信徒様は大変不自由な状態におかれています。そういう中にありながらも、各教会は地元地域の方々の救済と支援に奔走しています。

四月四日付けで、扶桑教東日本大震災支援対策事務所を仙台発心教会に立ちあげ、武山孝行教会管長を所長に任命致しました。今後は対策事務所を連絡拠点として支援を行って行きたいと存じています。

ついては、全国教師の皆様にかへさせて頂くために、「扶桑云」を支援の受付窓口と致しましたのでお知らせします。

ご支援は被災地の教会を通して、教信徒様はじめ地域住民の皆様のご救済に充てさせていただきます。ご支援の方法等に関しましては本部までお問い合わせ下さい。

何とぞご理解ご支援を下さり、くお願ひ申し上げます。

東日本大震災鎮静復興祈願詞が全国教師に送付されました

我が国は千年ぶりの大災害に見舞われ、二万三千人余の犠牲者、一万四千人余の不明者として二万五千人以上の避難者が苦しんでいます。

私達、祈りにたずさわる者は、今こそその方々の心に寄り添い、共に支え合い、共に助け合ひて、私達の祈りを届けなければならぬ時であると存じています。四月十二日、本部太神において、大震災の鎮静と復興祈願祭を、教團宗主のもとと履行致しました。太神では、毎日祈願を続けさせて頂いております。

先般、震災鎮静復興祈願詞(下段)を送付致しました。教員各位には教団百次祭また特別祭等、教師各位には日々の御神前での御勤めの際に祈願をしていただきますよう、お願ひ申し上げます。

私達の小さな小さな祈りは、心一つに結ぶことにより、必ずや届くと念じています。何とぞよろしくお願ひ申し上げます。

東日本大震災 鎮静復興祈願詞

掛け巻くも畏き大祖参神をはじめ奉る天神地祇八百萬神等の太前に、恐み恐みも申さく、

去にし平成二十三年三月十一日に起きし、東北地方太平洋沖地震、更には大津波の災害ひ蒙りたる広き大津地域の、海は荒れ、人々の住居をはじめ、街毎建物は倒れ流され、土は裂け山は崩れ、教知れぬ幾多の尊き生命瞬く間に失せ給ひ、今この時にも、揺らぐ余震の憂き目に耐へ、被災生活を送りぬるは、実に傷ましき極みなり、故、今し太前に額き拝み奉りて祈願仕奉る状を、大御心平らかに安けく聞食し給ひて、身退り給ひし御霊は静けく神昇り坐し給ひ、災害に遭ひ苦しむ人には大御陰以ちて、衣食住を悉くに行き渡らせ給ひて速かに元の平安生活に復興さしめ給ひ、再び災害の起る事無く、国中の人の、身も心も平穩に護り導き成就あらしめ給へと、真心唯一條に、御祈り、御願ひ、御頼み奉らんと申す